

Illustration by
みずやん

超 プライドの高い

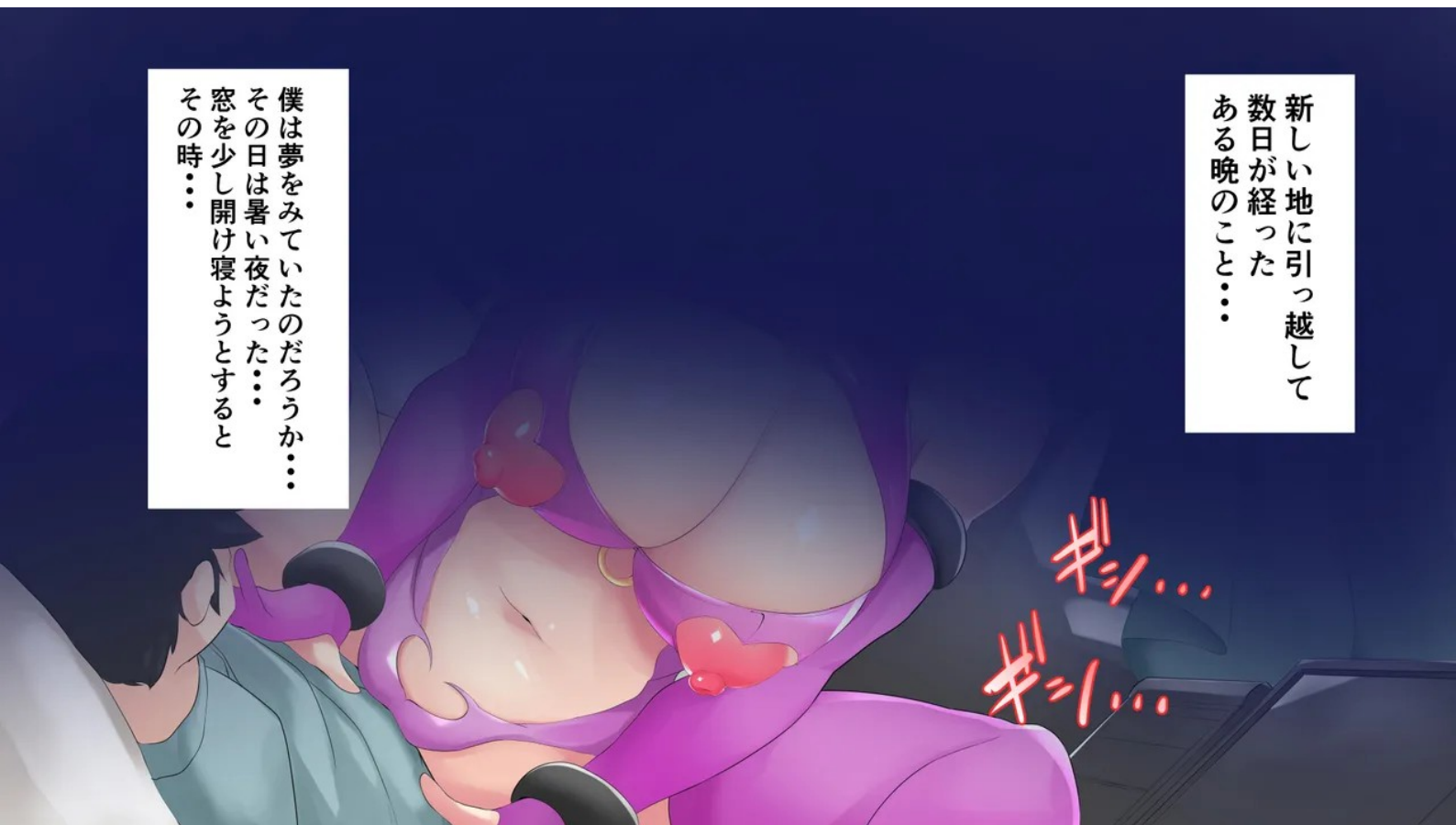
サキュバスを
♥ **奥さん**に
しちやつた件

基本CG **11** 枚
差分込み **162** 枚

新しい地に引っ越して
数日経った
ある晩のこと...

僕は夢をみていたのだろうか...
その日は暑い夜だった...
窓を少し開け寝ようとする
その時...

ギシ...
ギシ...





はじめまして♡
あなたの精液を
食べに来たわよ♡

ギシ
ギシ

そう
夢なのか幻なのか分からない
そこにはファンタジーでよく見る
サキユバスなコスプレをした
お姉さんが...

か、体が動かない...!!
金縛りか...?

ガクガク



わあ〜♡
すごい大きい〜
でも皮被ってて...

もしかして
初めて？

...いや これは夢じゃない
実際に伝わってくる
匂い 空気 女性特有のフェロモン
そして... 快感

うふふ
その顔は初めてみたいね〜
じゃあ...気持ちよすぎて
死んじゃうかもねえ〜

ほあ〜...

くっ
くっ

おっ
すっ

ビクビク

いただきますぁ〜す♡
あはぁ童貞おちんちんは
やっぱり美味しいわぁ〜

全身金縛りにあっている僕だが
おちんちんの感覚だけは
ダイレクトに伝わってくる
初めて女の子の膣内に挿入った
感触…体全部が
搾り取られるようだ…

あらあら気持ちいいの？
人間のオマンコなんかより
サキユバスは絶品ばかりだから

でも…絶品すぎて
本当に昇天しちゃったら
ごめんねぁ〜♡

アッ



どんどん
股間から全身に強烈な
快感が響き渡る……!!

こんなの
オナニーと比べ物に
ならないくらいに……!!

あら?どうしたの
もう苦しそうな顔
しちゃって……
でも 初めて味わう快感で
悶える顔……
私の大好物なのよ!♡

これは……
夢?じゃない
現実だ……げん……じつ





あらどうしたの？
もう君のおちんちん白いおしっこ
出なくて出なくて
私の膣内で暴れちゃってるわよう

うふふ♡
そんなに切ない顔に
なっちゃって...

あ
むわああ

でも...私
人間じゃないから
強烈な射精で...

死んじゃうかもね♡

し...死ぬ？
まさか嘘...
でも強烈なフェロモンと
快楽だけが勝って...

だが死んでたまるか...
これは夢なんだ
負けるものか...!!
負け...!!

あ...
ううう



はーびーびー...と
あはあ♡
いっぱいお腹の中に入ってきたあ...

やっぱり
初めての童貞おくんは
美味しくて癖になっちゃうわあ

全身が動けない中
足の先から頭の先まで
絶え間なく快感が巡り巡っている...

このままだと快楽で意識...
いや生気すら吸われてる...!!

これは夢じゃない...
現実だ...!!
現実の射精...!!

負けるものか!!
今まで一人で鍛えてきた
僕のちんこ!!

あああああ!!
あああああ!!
あああああ!!

アッアッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ

ビュッ

サキュバスの気が緩んだ隙に
一転攻勢に移りだす……！
夢だろうが現実だろうが
気持ちいいものは止まらない！！
止められない！！

バァーッ
ヤッ

僕の唯一の誰にも負けない
力がある……！
それは
一回の射精なんかで終わらない
絶倫王だ！！





はあはあ...
どうだ!! サキュバス
僕の方、人間の力!

ピキッ

ピキッ

気づけば馬乗り状態
マンダリかえしという
サキュバスにとって
屈辱的ポーズを味合わされていた

ば...ばかな
なぜだ今までのやつは
私の呪術も解けないまま
性奴隷の下僕と化したのに!!

はあ
はあ







よし
このまま中に出して
イカせてやる!!
人間様の力見せてやる!

はあ!!
お前のちんこで
この私がイクわけないだろう!!
身の程知らずが!!

サキユバスにとって
搾精が目的で
人間が優位に立ち絶頂させられることは
屈辱的行為でもあった
このまま絶頂させられると
プライドをスダスダにされるとどうもの

こうなったら...
奥の手...







全て搾り取られていた僕は
繋がったまま意識を失っていた…
サキュバスの力…
恐るべし…

ゴホ
ゴホ…

ビクッ
ビクッ

はあはあ
初めてにしてはなかなか
手こずらせちゃって…

まあこれで下僕になるのも
時間の問題ね…
私の精液製造ペットとして
迎えてあげる…わ

うふふ♡



何故かすごく気だるい
バイト中もまったく気力が
出なかった…

やはり
あの淫魔な夢が原因なのだろうか
周りからも心配されるくらいに
顔にでていたらしい…

夜遅くまでなんとかバイトも終わり
やっと寝られる…と
帰り際、

突然、謎の睡魔に襲われた…
そして…
何かに覆いかぶさられ…



そう……
夢に出てきたサキュバスだった

元気してたあ？
私のペットちゃん？

この前の反抗的なあなた
良かったわよ……
今度こそ私の性奴隷に
してあげる♡

スリッパ……







無理だった...逆らおうとしても
いくら体が疲れていようとも
僕の股間は爆発寸前だった...

ああああ
どうしたの！
自分から挿入しちゃって...

そんなに待ちきれなかったの？
私のオマンコ...
これは夢じゃない

ぬっ
うん
うん
うん
うん

ハッ

ゼーんぶ搾り取って
今度こそ私の精液製造ベットに
してあげるわ♡

うふふ♡



う...
やばい こんなトロトロで
キツキツの肉厚...
癖になっ...
癖になっ...
癖になっ...

こうやって
腰を左右に動かすと
すぐみんな果てて
イクんだけど

君のおちんちん
ほんと最高ねえ！
私だけのモノにして
毎日搾り取りたいわあ！

あ...
あ...
あ...



ほらほらあゝ
身動き取れないまま
情けない射精しちゃいなさい！

完全に屈服して
私だけの精液人形になるのよ！！

人間をやめて
私だけの精液人形に
なっちゃいなさい！

や...やめて！！
またまた
全部でちゃ...！！









あ...あ...あ...

肉人形...

バイトでヘトヘトになって体が

いつの間にか快楽を貪る体に

どんどん変わっていく...

これ以上速く動くと
全部出てしまいそうだ...

どうしたの？
勢いが弱く
なっちゃってるわよ？

そうだ♡

スッスッスッ



サキュバスの膣内が
すべてを搾り取るような
締め付けをしだす……
たまらない……
気持ちいい……!!

中に出したい?
おちまげたい?
苦しい? つらい?

でもダメ♥
私も気持ちよくなりたいから
まだ出しちゃ駄目よ?

おちまげ♡♡♡♡♡

おちまげ♡♡♡♡♡

おちまげ♡♡♡♡♡

おちまげ♡♡♡♡♡



出したいー出したいー！
出したいー出したいー！！

このサキユバスを
自分のモノにしたいという
欲求だけが高まっていく……

はあはあ
そろそろイッても
いいかな……

下僕になるまえに
頭が壊れちゃいそう
だからね……

出したい
♡





あはあ♡すごおい量
やっぱり君のおちんちんは
最高だね♡
これでもう
私の下僕になったのも
当然よね？

あはあ♡
すごおい量
やっぱり君のおちんちんは
最高だね♡

あはあ♡
すごおい量
やっぱり君のおちんちんは
最高だね♡

あはあ♡
すごおい量
やっぱり君のおちんちんは
最高だね♡

考えられないくらいの
射精が出た…
ただただ気持ちいい
このまま終わっても
いいくらいに…
でも…！

一心不乱に
サキユバスの体を持ち上げた

普段 そんなに力はないほうなのだが
フェロモンの力というか
いつも以上に力が増している

もわぁぁ

ド...

あはは♡
まだやるつもりなのお？
ほんと寝みたいに
発情しちゃって

プライドも
そろそろなくなっちゃって
きちゃったのかなあ？

んんん...

え？

カッ
ハッ
ハッ





あれだけ射精したのにまだ足りない
そう…体はずっと快樂
サキュバスそのものを求めていた

あはははは♡
すこいおちんぼ♡
この前まで童貞だったのに

ますます従順なペットにして
毎日毎日枯れ果てるまで
精液搾り取りたいわぁ♡

バカ言うな…
このちんこは…
このちんこは…!!

ドキ
ドキ
ドキ

僕のちんこだ!!

おほ♡

ビィ

さっきから何度も何度も射精しても止まらない むしろ数倍にパワーアップしている僕のちんこ

そう。。

サキュバスを屈服させるために自分のモノにしたいという欲求が股間に集結していた。。

が

ほあ!!



あはははは！
すごいすごい！
まるで私を玩具みたいに
突き上げちゃって！

みんなそうやって
どんな性欲と快楽に縛られ
壊れていくのよ！

あなたのその力なら
毎日毎朝毎晩
死ぬまで全部ぜーんぶ
食い尽くしてあげるわあ！
楽しみ！

ふざけるな……！
僕は人形にならない
お前が……！
お前が僕の！



僕のモノになるんだ!!

おほお!!

…なにこれ
やばい子宮奥まで
いままて感じたことのない
力でめり込まれて…!!
こいつ…
精神崩壊してない…
しっかり自分の意志のもとで
私を犯してる…!!

サキュバス!!
お前を屈服させるまで
イカせるまで貫いてやる!!

ドスッ
ドスッ
ドスッ

やばい…
こいつ本気だ…
いままで奴隷や下僕
人形にしていたヤツは
ここまで反抗的じゃなかった

このまま中に出されると
確実に！屈辱的に！
私がイカされてしまう…！！

こんな屈辱的な絶頂…！！
許さない！！

イクぞ！！出すぞ！
サキユバス！
お前も昇天するんだ！！







はあはあ…
やるじゃない…♡
ますます私のペットに
したくなってきたわ…♡

ふふ
今度決着をつけましょうか…♡
どちらかが倒れるまで…
ギブアップを認めたら
言うことを聞く…♡
それでいいわね？♡

サキュバスからの本気の挑戦状…
壊れるかもしれない戦いを申し出られたが
自分の中ではすでに決まっていた…

このサキュバスを
僕のモノにしたい…と

いよいよどちらかが
倒れるまでという
サキュバスとの決着を
つける闘いが始まった...

はあはあ...
前に見たよりも
凄い大きさに
なってるわね、

ただ
自分はいっぱいで縛られながら
それも玩具のようにされている
ここでサキュバスが
さきに倒れるか
僕が倒れるか...
決戦が始まる



はあはあ
前以上に
すごいデカチンに
なっちゃってるわね…

ほんとこのままだと
私の頭もおかしく
なっちゃいそうね♡
うふふ…♡

きた…!!
この何もかも
もっていかれそうなの
トロトロの膣内…

ズググググググ



完全に指導権を
握られているが
まずはここを耐えないと...

ほらほら
このデカチン！
射精することしか
頭にないくせにい！

しかし
何度もハメまくっていた僕には
この程度まだまだ余裕だった...
ハズだったが...



目の間に見える
お尻とそこから
出たり入ったりする
卑猥な光景...

うふふ♡
君のおちんちん
もう私の中で
悲鳴を上げてるみたいよ？

それもそうだ
こんなデカ尻を目の前にして
興奮しないわけがない...
リズムカルに跳ね回る
弾力のあるお尻...





さあ...
ここから私の特別なもの
見せてあげる
存分に出し尽くして
負けを認めなさいよ...!!

んぐ!
な...なにを!?

サキュバスドレイン!!

ぐちゅ

ぐちゅ



はあはあ♡
人間ごときに
この技を使うのも久しぶりすぎて…
体が敏感になっちゃう♡

ビクビク

スワスワ

膣肉全てが
精子を全て搾り取ろうと
一気に動き出した
精子どころじゃなし…
今度こそ生気も奪われる…!!

ガキガキ

ビクビク

ここは

耐えなきゃ…!!

耐えるんだ…!!

耐え…

ガキ

ハ

ハハ

♡

♡

ふふ…
さすが、この時のために
ずつと溜めてきたことは
あるわね♡

直接私が飲み尽くして
あげるから
まだまだ耐えなさいよ？

気づけば何か柔らかいものに
包まれている…
おっぱいパイズリだった
サキュバスの猛攻は
まだ止まらない…

きゅんきゅん

ビクッ

ふわとろなおっぱいに
包まれ幸福感に襲われる...

あらあら？
さっき出したばかりで
もうビクビクしてるわよ♡

サキュバスドレインで
体力と精子を奪われた僕だが
敏感なちんこを攻め続ける
サキュバスに絶対屈しなかった

ぐぐ...

むぎゅ♡

むぎゅ

ここまで耐えきれたでっ寝美よ
私の高貴な唾液を
プレゼントしてあげる♡

ありがたく
受け取りなさい♡

サキユバスの体液…
とくにキス等
フェロモンの高い液体には
身も心も壊れそうな
媚薬が含まれていた

理性も全て飛びそうになるが
それでも折れない…
ハズだった

とろろおろおろ

ガッガッ

ガッ

しかし…
目の前にはサキュバスの
マンコ汁が大量に溢れていて
ムリヤリ顔になすりつけてくる…

ああん♡
そんなに喉が渴いてなの？
私の淫魔なお汁ばかり
飲んでちゃって♡

ただただ
ひたすらに流れてくる汁を
飲み続けるだけの獣となっていた…

しかも
それを知ってか
わざと顔に
なすりつけてくる…



あはは
もうおちんちんからも
涎とまらなく
なっちゃってるわねえ♡

どう？
出したい？出したいの？
でもまだまだ我慢よ？
おちんちんも顔も
私の体液で溺れて
しまいなさい♡

体全身が性器になった気分だ…
もうどこをしごかれても
気持ちよくなってる…

これが人形になっていくと…
サキユバスの玩具にな…

たばん たばん

カク カク

カク カク





あ
あ
あ

あはははは♡
すごい勢いで白のおしっこ
出てるぅ♡
もう壊れた蛇回みたいねえ♡

しゃ
ん
ん♡

…
今度こそ完全に屈服するかと思った
しかし 自分の中で
まだ何か折れないモノがあった…

サキュバスドレインの連続で
気が緩んだサキュバス

これだけ搾精すれば
もう普通の人間は
失神するだろう
と甘く見ていた。。

しかし僕のちんこは全く萎えず
サキュバスのフェロモンや媚薬等で
凶悪な大きさへと変貌していた。。

ビキ
ビキ



は、はは
す、す
とんでもない体力と
ちんこ持ってるのねえ

まだまだ私とハメたいの？
いいわよ？
天国へいっばいっばい
連れてってあげる♡

サキユバス…
天国に昇るのは
君だ…

え？

バキバキ..

ヒクヒク♡

カッ



うんうん!!

おはよう!!

いままで聞いたことのない
サキユバスの鳴咽を
聞くことが出来た

ただマンコにハマても
こちらが結局、一方的に
抜かれるだけ……

＋＋＋＋＋

ただどうしても気がかりだったのは
お尻を常に避けていたことだった……
なんとも分かりやすい弱点だ

おはよう!!



勢いで凶悪なちんこが
全部吸い込まれるように
アナルの中へ入ってしまった...

途端にサキュバスの下品な
嗚咽まじりの喘ぎと
とんでもない締め付けを感じた

おお
おお
おお



ガッガッ

このままだと
あなたのおちんちんも
完全に壊れちゃうわ!!
アナルはだめなの
おおおおおお!!

止めて!
止めてえええ!
サキユバズドレインが
暴走しちゃうの!

サキユバズが何かを叫んで懇願している
しかし気持ちよさそうに
見えていた僕には
ただひたすら穴のヒダヒダ全てを
刺激し必死に貫いていた

ズッズッズッ



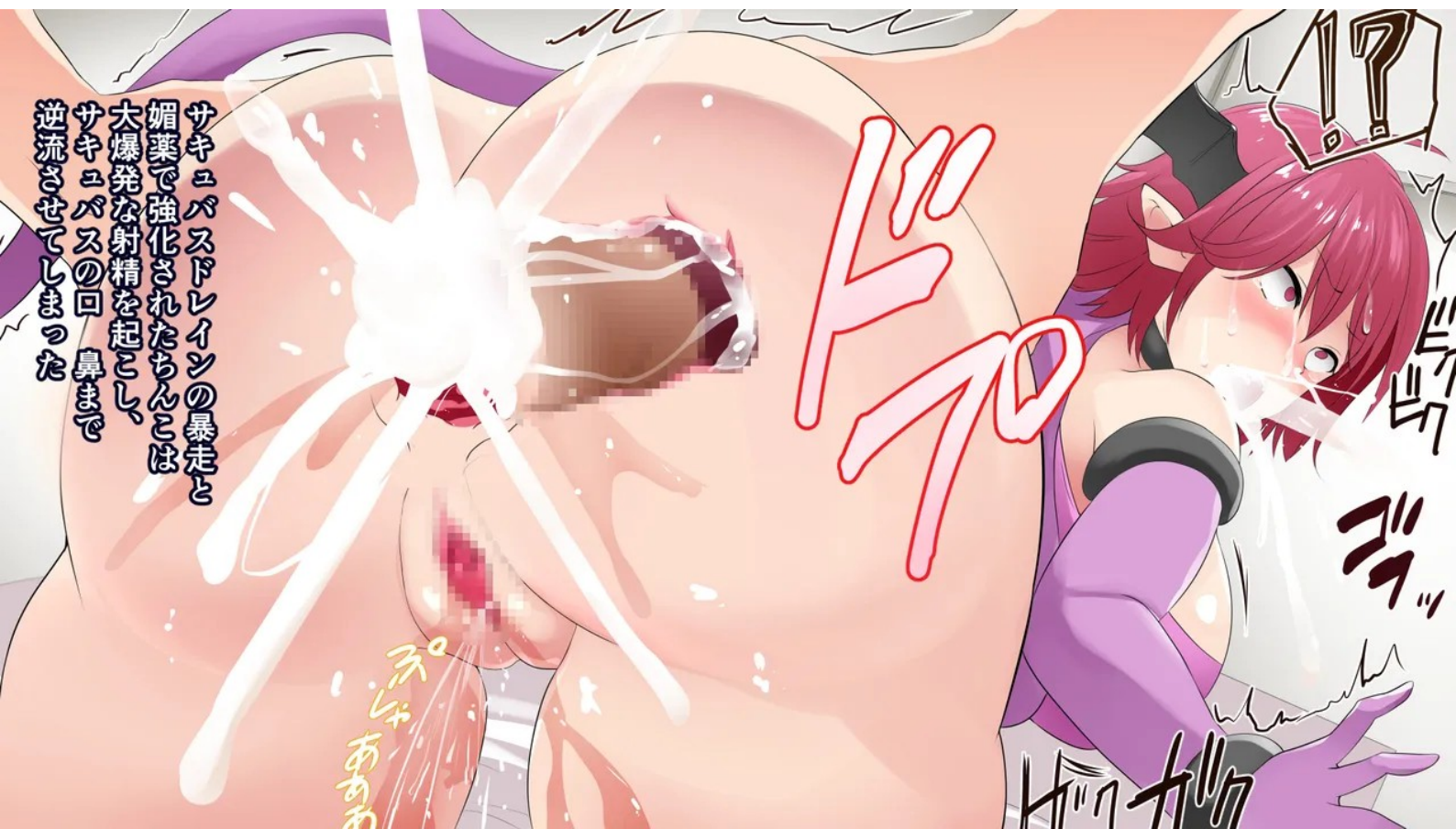
カクカク

下等な人間に
イカされるなんて屈辱……!
味わうものか!!

屈しない!!
これを耐えれば
あなたの方が
先に壊れる……!

確かにサキュバスの力が
弱くなってきているのを
ちんこ全身を感じて分かる……
……その時だった





サキユバズドレインの暴走と
媚薬で強化されたちゃんこは
大爆発な射精を起こし、
サキユバズの口 鼻まで
逆流させてしまった

ズッ
あああ

ゴッ

ハッ
ハッ



確実にいった
一方的にイカされてただけの僕が
ついにサキユバスを昇天させることに
成功した...

無残で惨めなアへ顔を晒し
今までの表情とは考えられない
絶頂顔...

これだけ射精しても
まだ萎えないちんこ...
このまま完全に
堕とすことを決意した

ゴッホ

ビキビキ...

オ...

ビクッ!!

ひー...
ひー...
ひー...

ビクッ!!



あれから
何時間経ったのだろう
サキュバスの暴走により
萎えないちんこ

一生分の精液を
全て吐き出して
いる
状態になっていた

ズッ

ズッ

あーっ

ビーン
ビーン

ドロオオオ...



ああ！
気持ちいい！
気持ちいいよサキユバス！
ずっとずっと入れていたい！！

おほっおほおほ
負けない！私が堕ちるなんて
ありえない！ありえない！！

でも……
私の 搾精行為が
制御できない……！！

おほ♡

おほ♡

おほ♡



何度目かの射精

お腹が孕んだかのように
精液が溜まりに溜まって
ポテ腹のような姿になってる
出そうにもちんこで
塞がれているため
回から逆流せざるをえない...

駄目...!!
駄目...!!
人間の精液...が
体の中全部犯し続けて...
脳まで狂う!
うううううううううう!!



さらなる絶頂……！
意識はしっかりしている……
イキまくっているサキュバスを
愛らしく見えてきた

ああ
もうずっとこの穴に
挿入していたい……
ああ 出る！

ん
ぐ
ぐ
ぐ

無理無理無理無理ムリムリムリ！
これ以上精液を穴に流されたら
快楽で脳が焼ききれちゃうううううう！！





もうすでに
完全に堕ちたサキュバス
そして次の射精が
最後の射精だと自分でも
体力的に理解していた...

モフアアア...

最後は...
最後だけはここに
ここに入れて...
イカせて♡

今まではただの
搾精するだけの行為だったが
今のサキュバスの目は
何か違う表情をしていた...

膣内はいままでの強引な搾精行為と違いゆっくりねっとり歓迎しているようにも感じた……

いままで
見せることのなかった
甘い声……
やはりサキユバスの
居心地が良い

ע"ה ע"ה



今までの荒々しい行為とは違い
リズムカルにピストンしていく…
それをしっかり受け止めて
感じるサキュバス

しゅぎ…♡
しゅぎよ♡
しまっくすって
さっこお♡

おっ♡
おほ♡

ほっ♡
おほ♡
おほ♡

あれだけ見下していた
性格もおとなしくなり
心は普通の女の子と
なっていた









サキュバスのお腹は
前も後ろも大量に入れられ
パンパンに膨れ上がっていた

しかし
今までに見たことのない
幸福そうな顔……

毛ねあぁあ♡

ゴボゴボ

僕のちんこに
屈服した
証明だった……



あれから
数ヶ月が経ち……
サキュバスが従えていた
下僕や人形は開放され
魂も元通りになった

ドク
ドク

僕の言うことをなんでも聞く
いうことをしっかりと聞き入れ……
僕だけを愛する女性となった……





あーん……あーん……
あんまり強く突かぬで……
お腹の子もびくびくするぞ……

うやあ
お産はイヤ……

いやあん♡
それこそ驚いて
お腹の子出ちゃうわ♡

屈服したサキュバスは
精液のポテ腹ではなく
しっかりと僕の子を孕んだ……
これも僕の求めてたものだった

1/0-1
1/0-1
1/0-1

すけ

愛をしっ
かり感じる
セックスを
楽しんでいた



こうして
サキュバスと結ばれること
になった僕……

波乱な幕開けになりそうだけど
こんな不思議な人生もあり……かな
と、今は幸せだけに溢れていた……







